

特集：大学説明会

大学説明会運営に参加して

塩谷 天（筑波大学 生物学類 2年）

1年生のときはこの説明会のスタッフに参加していなくて、2年になって始めて参加しました。初めての参加だというのに某先生の策略？で勝手に学生スタッフのリーダーになっていて、それを運営スタッフの初めての集まりのときにいきなり知らされた。

某I先生の申し出ということで断るわけにもいかず、最初はおれなんかで大丈夫なのか、と思いつつ、もう一人のリーダーの藤田さんと一緒に当日のリーダーの仕事をするようになった。しかし、リーダーとは言っても、仕事としては学生の学類説明会の司会だけとのことなので当日は施設見学のコース案内の仕事も兼任することにした。

リーダーとして当日までの仕事はあまり無くて、先生たちも学生の説明会は自由にやってくれとのことだったので、司会の原稿は本当に説明会の前日くらいまで考えていなかった。（6月中に司会の引継ぎ資料を渡してくれた染谷先輩。こんなやる気無いダメな後輩でごめんなさい。）それでも司会のパワーポイントの準備の方などは優秀な藤田さんのお陰で無事に完成しました。と言うか、全部彼女がやってくれたのですが…。おれ一人でリーダーだったらどうなっていたのかも。おれと藤田さんの2人をリーダーにした先生の読みは正しかったとこのとき思った。（藤田さん一人でもよかったかもしれないが。）

そんなおれでも仕事をまったくしていなかったわけではなく、今回は2009年に筑波大で行われる生物学オリンピックのアピールのために当日スタッフが着るTシャツの試作とデザインを手伝った。最初はこの仕事そんなに大変じゃないだろう、と思っていたのだが最終的にかなりの人数の先生と学生のTシャツを作ることになりなかなかの重労働だった。そんなこんなで7月の後半は大学に通ってTシャツを作っただけでした。それでも当日には自分の作ったTシャツを先生や運営スタッフの方々が喜んで着てくれてとてもうれしかった。

話は戻って、当日の仕事は学生説明会の司会・進行だったわけだが、これがやってみてかなり難しかった。そりゃ司会がそんな簡単な仕事じゃないのはわかっていたのだけど、

初日は時間の管理が出来ずに時間を大幅にオーバーしてしまい、2日目はその失敗から早く終わらせなくてほと焦ってしまって話をしてもらった学生のみな様にかかなりまいってしまい迷惑をかけてしまった。前日のリハの後にでももう少し段取りを整理しておけばと後悔しました。でもちよつと言いつつ訳をするならあれだけの学生の説明をあの短時間でやるのはちよつと厳しい

と思うので、来年からはもう少し時間を延ばしてもいいのではないかと思います。司会の仕事はかなり大変でしたが、その後の施設見学のコース案内は総合研究棟の中を案内して回るだけだし、ほとんど先生が誘導してくれたのでこっちの仕事は楽でした。

この仕事が終わればとりあえずスタッフの仕事は終わりということで、その後は高校生たちに混じって研究展示ブースを見学していました。

朝から会場案内や司会などをやってきてこの時間になるともうクタクタだったので、知っている先生のところに行って雑談していただけたのだが、このとき周りの高校生を見たらすごく熱心に先生の説明を聞いて、色んなことを質問していて、やっぱり筑波の生物学類の説明会に来るだけあってみんな熱心な高校生なんだなあと思った。おれも何人かの高校生と話したが中にはとんでもなくマニアックな話題をしてくるやつがいてビックリした。

ここまでだらだらと当日までの出来事を簡単に書きましたが、総括としてこの筑波大の生物学類の説明会にスタッフとして参加できてとても楽しい思い出になりました。

来年もスタッフを続けるかは分かりませんが、続けるとしたら今年の反省を生かしてより良い大学説明会にしたいと思いました。

最後に、この説明会のために一緒にTシャツの案や企画のお世話をしてくれた岩井先生をはじめ、学類の先生方、学類長室の職員の皆様、一緒に学生リーダーとして司会・進行を務めてくださった藤田圭子さん、司会の引継ぎ資料を作ってくださった染谷先輩、一緒に参加した学生スタッフのみんなに深く感謝します。

Communicated by Shinobu Satoh, Received August 18, 2007.